






総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【11月号】

クラブ名	ココロとカラダ健研究会	訪問日	10月15日	訪問者	近藤 優子
訪問詳細	<p>クラブ訪問をさせて頂く度、明るい笑顔と元気でお待ちしております。橋爪さんと庄田さんがこの度、「ニュースがあるの！」と立派な賞状と楯を見せてくれました。そこには文部科学大臣から「長年にわたりスポーツの普及振興に尽力されました」と明記されている賞状がありました。</p> <p>ココロとカラダ健研究会が設立してから10年。少子高齢化に伴う会員の減少や若手スタッフの育成という課題を抱えながらも、誰もが身近にスポーツに親しめる地域を目指して数々のイベントや教室を開催してきたココカラ（愛称）。その活動が認められて今回の表彰に至ったことは、今後の活動の更なる活力になるのではないかと思います。</p> <p>「ココ◎カラ」新たなスタートとして頑張りたいと思います。</p>			 	

クラブ名	いがみ倶楽部	訪問日	11月16日	訪問者	玉城 克馬
訪問詳細	<p>今回は、長門市油谷伊上にあります、「いがみ倶楽部」の「スポーツ交流大会」にお邪魔させていただきました。あいにくの曇り空のなかではありましたが、参加者30名でグラウンドゴルフを行いました。参加者の中には生まれて初めてグラウンドゴルフをするという方もいて、経験者の方が指導を交えながらラウンドされていました。</p> <p>今回の「スポーツ交流大会」はクラブとして初めての取り組みであったため、運営などの不安もあったでしょうが、参加者の協力もあり、スムーズに行うことができたと思います。</p> <p>高齢者の多い伊上地区では、身体を動かすような施設もなかなかありません。いがみ倶楽部がスポーツや健康に関するイベントをすることで、地域の方々のquality of life（生活の質の維持・向上）につながればと思います。</p>			 	



☆レッツ！オリ・パラ☆

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、オリンピック28競技、パラリンピック22競技が行われる予定です。第1回のアテネ大会から途切れることなく実施されている競技は、陸上・水泳・体操・フェンシングの4競技で、当時欧州で盛んだった競技が中心に選ばれたそうです。意外にもフェンシングは、1959年のIOC総会まではオリンピック憲章の中でも開催必須競技として挙げられていたそうです。フェンシングはヨーロッパ中世の騎士道華やかかなりし頃、「身を守る」「名誉を守る」ことを目的として磨かれ、発達してきた剣技です。その後、火器類の発達により、戦（いくさ）の場での実用性は急速に衰退していきましたが、繊細かつスピーディなテクニックに多くの方が魅了され、競技化されることになったそうです。最近すばらしい結果を残しているフェンシング日本代表。東京オリンピックでの活躍も期待しましょう！

2020年
東京オリンピックまで
2066日
※平成26年11月27日現在